

■ 効果の見える治水事業
香川県 見目西川（小豆郡土庄町）の砂防事業
『見目西川 通常砂防事業』



香川県小豆総合事務所次長 尾幡 季之

事業箇所 小豆郡土庄町
事業期間 平成 22 年度～平成 28 年度
全体事業費 200 百万円
事業計画 砂防堰堤 1 基
 溪流保全工 2 8 m
堤 高 H = 9.5m
堤 長 L =121.0m
堤体積 V =4,150m³
貯砂量 Vs=4,200m³
前庭保護工 N =1 式
流域面積(計画基準点) 0.05km²



見目西川は、瀬戸内海国立公園内にある小豆島の北側に位置する、銚子溪付近の山地に源を発し、瀬戸内海に流れ込む河川で、その上流域は、流域面積 0.05 km²、平均溪床勾配 1/3.3 の土石流危険溪流となっています。下流域には 49 戸の人家に加え、土庄町の指定避難所である北浦公民館や緊急輸送路に指定されている県道土庄福田線等の公共施設も存在していることから、それらを土石流による被害から守るため、平成 22 年度から見目西川通常砂防工事に着手し、土庄町や地元関係者のご協力のもと、平成 28 年度に完成しました。

当事務所としましては、昭和 49 年と昭和 51 年に甚大な被害が発生した小豆島において、土砂災害から住民の皆様の生命と財産を守るため、地元町と連携し、引き続き、砂防関係施設の整備を推進するとともに、日頃からの土砂災害の危険性の周知や、災害時の迅速かつ確実な情報伝達など、ハード・ソフト一体となった土砂災害対策に取り組んでまいります。



下流域の状況



完成した堰堤

■ 「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」(香川県土庄町)



土庄町長 三枝 邦彦

土庄町は、瀬戸内海国立公園の東部にあって備讃瀬戸の入口に位置する小豆島の西北部及び豊島を含めた地域を行政区域としています。東南部は小豆島町と境を接し、東西 26.9 km、南北 11.5 km にわたって広がり、総面積は 74.39 km² です。地勢は、小豆島を東西に走る脊梁山地が四方指・皇踏山から土洲海峡を挟んで高見山・大深山、更に海上を隔てて小豊島から豊島壇山へと連なっています。また、美しい海岸線は多くの附属島嶼とあいまって瀬戸内海国立公園にふさわしい内海美、多島美を演出しています。

さて、本町では、昭和 49 年、51 年に土砂災害、平成 16 年には高潮災害及び台風 23 号により甚大な被害を受けました。

とりわけ、台風 23 号による被害では、見目地区において土石流が発生し、人的被害は発生しなかったものの、公共施設、家屋、農地等に被害が発生し、町民生活に大きな支障を来しました。こうした土石流による被害から守るため、今回、香川県において整備いただいた見目西川砂防施設は、見目地区の全域を氾濫区域とする重要な砂防施設の一つであり、関係者の協力のもと、平成 28 年度に完成いたしました。これにより地域の安全性が高まり、今後、地域住民により安心して豊かな生活が営まれるものと期待しています。

一方で近年多発する集中豪雨や局地的な大雨による水害や土砂災害に対して、被害を最小限に抑えるには、防災関係機関が一体となるとともに、地域住民一人ひとりが防災活動に積極的に参加し、防災力の向上を図ることが大切です。本町においても、大規模な土砂災害に備えるため、住民主体の避難訓練を中心として、情報伝達訓練、避難誘導訓練等を行い、地域全体の連携の輪を再認識していただき、防災意識の高揚を図ってまいります。

今後も関係機関、地域住民と連携し、防災対策に取り組み「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」を推進して参りたいと考えております。



避難誘導訓練



防災講話